
2003 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシ
ップ開発センター

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町 93

TEL:075-315-9103

FAX:075-315-9134

事業概要

1 事業の成果

設立趣旨に則り、基本活動をベースに、公的組織・企業などと協力・連携しながら、当初の予定どおりの活動をほぼ実施することができ、学校現場にアントレプレナー教員の普及・促進に努めることができた。収支については、会費収入や補助金が当初予定どおりには集まらなかったが、協力企業から立ち上げ支援のための寄付金収入とサーバ管理・労務費の直接負担があり、支出の部の各事業運営経費が減額された。このことにより発生した次期繰越金は、平成16年度の事業展開に活用することで、本特定非営利活動法人の運営がより安定したものになることができると考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数
アントレプレナーシップ教育推進・普及事業	ネットを使った企業経営教育プログラムの学校への導入支援	随時	センター又は各学校現場	31校 1050名
	経済産業省委託開発教材の学校への導入支援	随時	センター又は各学校現場	1500人
	上記参加生徒の発表会の企画・実施	毎年11月頃	京都国際会館	小・中・高校・専門学校・大学、企業人、保護者、教職員など500人
	HPなどに当センターの活動状況を随時報告	随時	HP	不特定多数
	指導者研修	平成15年8月22日、9月21日から10月2日、平成16年3月18日、3月20日、3月23日、3月27日	京都リサーチパーク、イギリス・フィンランド、京都府立すばる高校、京都市市民活動総合センター他	40人
教材・教育プログラム開発	アントレプレナーシップ教育のための新しいカリキュラム開発の受託事業	平成15年7月～平成16年3月末	センターと実証実験校	生徒750名、教員23名
起業家育成講座	地域活性化を目的とした、行政の起業家教育講座の企画・運営の受託業務	年6回程の講座	商工会議所又は各教育団体の教室	104名
講師派遣	起業家の学校への派遣	随時	大学または企業内	講演を受けた生徒約1000人
コンサルティング事業	学校を改革したい指導者や行政の人へのアドバイス	随時	センターまたは電話にて	年間約50人

(2) その他事業なし

活動内容

■ □ 研究プロジェクト

● 海外先進事例研究調査

平成 15 年 9 月 22 日（月）～10 月 2 日（木）

京都教育大学との 3 ヶ年共同研究の一環で、イギリス、スコットランド、フィンランドの先進事例の視察研修を企画実施しました。OECD の学力テストで一位をとったフィンランドの教育。センターとしては 4 回目の視察ですが、国の支援施策が毎年バージョンアップしているのには感激！アントレプレナーシップ教育、日本でも広めよう！

http://www.entreplanet.org/whats_new/inspection2003.pdf



スコットランド Strathclyde 大学にて



Carmunnock 小学校の発表



フィンランドの保育園で校長先生の説明を受ける



バーサ市で先陣達と懇親会

● 立教大学「ビジネス・クリエーター創出センター」との 5 ヶ年プロジェクト

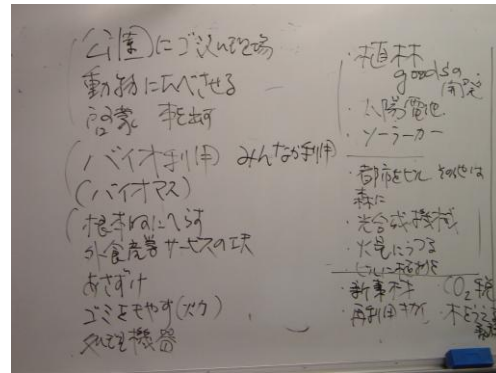
「ビジネス・クリエーターの創出のための基盤整備と教育プログラム形成に関する研究ー小学校から大学までの一貫性のあるキャリア形成支援システムの構築をめざしてー」というタイトルで、アントレ教育委員会が立ち上がり、平成 16 年 1 月～3 月にかけて東京都立国立高等学校（担当：新井明先生）で研究授業が行われました。

国立では一年生 4 クラス(168 名)が、環境と福祉をテーマに、新しいビジネスの創造にチャレンジしました。

http://www.entreplanet.org/whats_new/rikkyo.html



チームで話し合う



環境をテーマにブレインストーミング

発表会には地元国立商工会の方のご協力で会員企業の方が指導に来てくださいました。

3月19日(金) 環境ビジネス：木村淳二（木村会計事務所）

3月22日(月) 福祉ビジネス：原田洋示（有原田商店）

- 小・中一貫教育のなかで「アントレプレナー教員を実践」：文部科学省研究開発事業
 京都教育大学教育学部附属京都小・中学校では、「9年生義務教育学校」の設立に向けた小中学校9年一貫教育システムの確立に関する研究開発」のなかで、3つの大きな教育の柱に、「アントレプレナー教育を位置づけています。たぶん、小・中一貫で本教育に学校をあげて取り組んでいるというのは、日本で初めての取り組みではないでしょうか。（当センターの高乗理事と原田がアントレプレナー教育の運営指導委員のメンバーです。）

平成15年11月21日（金）・22日（土）には、教育実践研究協議会を開催され、アントレプレナー教育、サイエンス、ラングエージの新教科の成果を発表されました。5年前にセンターがアントレプレナー教育を開始した際に、実証実験に協力して下さった唯一の学校。昨年度から小・中一貫教育のなかで、アントレプレナー教育が開始されましたが、さすがに実績のある学校。中学生の授業は圧巻！



小学校では遊び場の提案、中学生は京のお土産を提案：井筒八ッ橋の社長さんからコメントをもらう生徒

■□受託プロジェクト

● 神戸商工会議所 KCCI 創業塾（第五期）

平成 15 年 6 月 7 日（土）～平成 15 年 7 月 12 日（土） 計 6 回のうち 2 日を担当。

バーチャル・カンパニーをつかって、新しいお菓子屋の経営に挑戦しました。講義ばかりの講座ではなく、チームでワークする実践作業に、起業希望の社会人参加者も楽しんで取り組みました。

●財団法人阪神・淡路産業復興推進機構（HERO）平成 15 年度専門学生対象の起業家教育事業：「神戸の新しい食産業を提案」

期間：平成 15 年 7 月 23 日、24 日、25 日、9 月 6 日、20 日、10 月 4 日

参加校：神戸電子専門学校、神戸経理コンピュータ専門学校、専門学校アートカレッジ神戸、兵庫栄養専門学校

今年度は専門学校が 4 校になり、昨年度よりさらにバージョンアップしたチームでの取り組みでした。その分野のプロの起業家から話しを聞いて、9 月 20 日にはプレゼンテーション大会を実施しました。先生チームも生徒に混じって参加。

素晴らしいプログラムでした。



先生も生徒と一緒にアントレ授業を体験！がんばりました。

●タイの起業家教育普及事業：「経済産業省委託平成 15 年アジア産業基盤強化等事業」

平成 15 年 10 月 28 日（月）～31 日（金）

タイのチェンライにあるメルファルアン大学において、バーチャル・カンパニーを使ったアントレプレナーシップ教育のパイロット授業を実施。学部的一年から MBA の学生まで混成チームで、皆とても熱心！地元の生産品の商品開発や品質改良に取り組みました。最後に同志社女子大学の生徒の英語プレゼンを見て、自分達も英語でプレゼンに挑戦。



授業風景



事業プランを練る学生たち



首相首席顧問パンサク氏に事業報告

タイでは、アントレプレナー教育への注目がかなり高く、現地でお会いした大学関係者は一様に、次年度からアントレプレナー教育のカリキュラムを学校で入れたいので協力して欲しいとお話。首相首席顧問パンサク氏は子どもの取り組みに一番感心を持たれ、子どもに向けての教育をすぐにでも始めたいと大変積極的。
今の日本の現状では、アントレプレナー度はあきらかにタイに負けています。

● 近畿経済産業局委託事業 社会・経済のしくみ体験キャンペーン記念イベント

～やってみなきゃわからない仕事のおもしろさ～

平成 15 年 11 月 9 日（日）13：00～16：30

今秋、オープンした私のしごと館（関西文化学術研究都市）にて、小中学生 38 名が職業の適正検査を受けたあと、「先端技術の仕事」、「伝統工芸の仕事」「マスコミの仕事」等に別れて職業体験。一番の人気職業は声優でした！その後、バルーン・アーティストの加原かつひこ氏（有限会社ウィンズバルーンズ代表取締役）から、今なくても将来自分で好きな職業として創ればよいという発想で、新しい仕事や人に夢を与える仕事についてお話を聞きました。アンケートを見て、「子供も結構考えている！」と関心。



適正検査中！



デザイナーに体験。ワクワク。



講師の話を真剣に聞く子供達

●平成 15 年近畿経済産業局委託事業「起業教育モデル事業」

中学校の「総合的な学習の時間」で実践できる「起業教育」のカリキュラム開発を実施。福祉や地元の産業（コンビニ、中小企業・商店街の活性化）などをテーマに多様な取り組みを実施し、平成 16 年 3 月 6 日に成果発表会が無事終了。

モデル校：京都市立修学院中学校、追手門学院大手前中学校、同志社香里中学校、
学校法人大阪初芝学園初芝堺中学校、東大阪市立小阪中学校



「福祉商品の開発」で起業家の話しを聞く
(修学院中学校)



学校のお土産物を開発発表する生徒
(初芝堺中学校)



「理想の幼稚園」を説明する生徒
(東大阪市立小阪中学校)



成果発表会：指導者の発表に熱心に聞き入る参加者
(東大阪市立小阪中学校)

●MOTプログラムの海外調査：奈良先端科学技術大学院大学

大学院レベルでの知的財産の管理・活用や起業支援などについて、奈良先端科学技術大学院大学の先生方と一緒にマサチューセッツ工科大学(MIT)、スタンフォード大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)を訪問してきました。訪問した大学の教授陣達の一貫した意見は、大学は地域貢献のために地元企業や Start-ups を支援する。しかし、一番に優先すべきことは、学生が自己実現するために必要な高度なスキルと知識を与え成功するためにトレーニングすることであり、ベンチャーを Incubation する機関ではない(それは民間のプロが実施すること)ということ。スタンフォード大学で参加した MBA 向けの Entrepreneurship Conference では、スタンフォード大ビジネススクールのネットワークの広さと Alumni の団結意識の強さに感心しました。



Stanford の TLO で



MIT の Entrepreneurship Center はメニューが充実

■ □ 研修事業（自主事業）

● ファシリテーター研修会

平成 15 年 8 月 22 日(金)

中・高等学校の先生方を対象に起業家教育を指導するために必要なスキルを磨くための課題解決ワークショップを行いました。

当日は、全国から多数ご参加いただきました。普段は、教える側の先生方ですが、この日は、少し緊張した様子で、グループでの意見交換や発表を行い、有意義な場となりました。

● 「バーチャルカンパニー トレードフェア 2003 京都」

平成 15 年 11 月 8 日（土）9：30～16：00

http://www.entreplanet.org/whats_new/tradefair2003/index.html

普段はネット上の仮想市場での売買活動を通じて交流している生徒達が一斉に京都に集まり、対面販売やビジネスプレゼンを実施。各教育段階別に審査員の評価を受けました。総合部門最優秀の「アントレ賞」は、「まんが鏡」を販売した神戸市立兵庫商業高等学校のペンギン倶楽部・Kingdom チームが受賞しました。当日は、教育関係者、マスコミの方、保護者の方々など各方面より約 500 名のご参加を頂き、小・中・高等学校、専門学校、大学の参加チーム 51 社が出展。販売活動やプレゼンテーションを通じて、その成果の優劣を競い合いました。



小・中学生部門で優勝した福西小学校と高校生部門で優勝した大江高等学校のチーム

●産官学交流会「京都 EDOS 会」の開催

平成 16 年 2 月 6 日（金）18:00～20:30

http://www.entreplanet.org/whats_new/edos_r.html

関西地域で現在の教育の在り方に問題意識を持つ教員、学生（大学生以上）、社会人が集い。人づくり・まちづくりに積極的に関わっていくための研究・交流会を立ち上げ、第一回目を開催しました。活動内容としては、以下のことを行います。

- 3ヶ月に1回の研究・交流会の開催
- 新しい教育（学校・産業界両方を含む）の実践紹介や効果・成果検証の情報交換
- 学校への社会人講師の派遣や地域連携学習のためのネットワークづくり

第一回目には、「アントレ教育：自分と取り巻く社会の再発見」というテーマで、京都教育大学附属京都中学校教諭の上西先生と市原先生に授業の実践成果を御報告いただいたあと、京都では、誰でも知っているお菓子の会社、株式会社井筒八ツ橋本舗の代表取締役社長津田純一様にご講演いただきました。

「学校の先生は夢を与えるのが仕事。だから、子どもたちにもっと夢を与えて、感動する経験をさせて欲しい。また同時に、現実社会の厳しさを教えることも忘れないでください。」と津田社長。とてもよいご講演でした。



企業・行政の方と先生方の会おう場：

最後は、皆、ほろ酔い気分で、楽しく、あっという間に時間が過ぎました。

●バーチャル・カンパニー体験ワークショップ

高校向け：平成 16 年 3 月 13 日（土）13:00-16:00

http://www.entreplanet.org/whats_new/koko_report.html

小・中向け：平成 16 年 3 月 20 日（土）13:00-16:00

http://www.entreplanet.org/whats_new/040320/040320.html

京都府立すばる高校から一年間企業研修で当センターに来ている浅尾さんの成果発表もかねた研修会です。高校の部は無事終了。21名の先生がたが、生徒の立場にたって、高齢者や障害者・子どもに使いやすいコンピュータの開発をテーマに商品開発に挑みました。カラオケ機能のあるマイク型コンピュータなどのユニークな案が出てきて、楽しい会となりました。

アンケートでは、参加者全員が「役に立った・興味を持てた」と回答されました。



頭をやわらかくして知恵を絞りあう先生方でしたが、やっぱり若手チームのアイデアがよかった！

●「やりたいことを実現できる企画力をつけよう！」総合的な学習の時間にむけて

平成 16 年 3 月 23 日（火） 13:00 – 16:30

http://www.entreplanet.org/whats_new/040323/040323.html

生徒達がやりたいとおもったことを見つけ、それを夢で終わらせるのではなく、第三者の理解や支援を得ながら実現していくために必要な「自己発見」や「企画書立案」の力をつける授業実践や、さらにそれを進めて地元企業と連携した新しいビジネスを創出する学習活動を紹介する研修会を実施しました。

●キャリア教育の実践講座「職業体験だけで終わらせない！」

平成 16 年 3 月 27 日（土） 9:30～12:00

http://www.entreplanet.org/whats_new/040327/040327.html

「総合的な学習の時間」で取り組み始められた職業体験。楽しかった短期間のイベントとして先生だけの自己満足で終わってしまいがちです。生涯通じてのキャリア教育の一環として位置づけるために、職業体験をもっと深い学習の機会にするための実践事例の紹介とミニワークショップを実施しました。